

# とちりん

Vol. 1



真岡市天然記念物「樹令400年の楓」  
撮影場所:鬼怒川河川敷の夕方

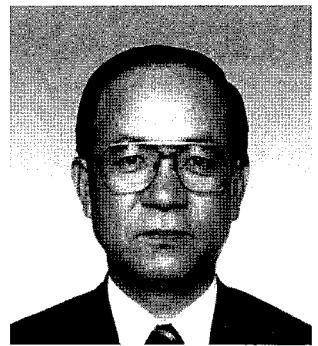
小さな苦難を大きな幸福に変える法則が動き出す。

## 企業に倫理を、職場に心を

今日は最良の1日、今は無二の好機  
苦難は幸福の門  
運命は自らまねき、境遇は自ら造る  
人は鏡、万象はわが師  
夫婦は一対の反射鏡  
子は親の心を実演する名優である  
肉体は精神の象徴、病気は生活の赤信号  
明朗は健康の父、愛和は幸福の母  
約束を違えれば、己の幸を捨て他人の福を奪う

働きは最上の喜び  
物はこれを生かす人に集まる  
得るは捨つるにあり  
本を忘れず、末を乱さず  
希望は心の太陽である  
信すれば成り、憂えれば崩れる  
己を尊び人に及ぼす  
人生は神の演劇、その主役は己自身である

# 創刊を祝う



栃木県倫理法人会会长  
最上勝弘

お陰様でこの度の栃木県倫理法人会五百社達成、日光今市倫理法人会設立と共に、長年の課題でもあった本県倫理法人会の広報活動がスタートし、この日出度き日に創刊号を会員の皆様方にお届けすることができる運びとなりました。

本県倫理法人会の生みの親であり、又、全国にも様々な情報を発し、普及に力を尽くされた初代会長沼生実氏から、二代目会長佐藤信芳氏に受け継がれて、今日に至つておりますが、時代をよく読み、これぞ”人を生かす法則”“企業を救う道”と信じて様々な苦難の中、普及し続けて下さった先輩の方々への深い感謝と共に、その教えに賛同し、共に歩んできている倫友仲間に対しましても、感動とも云える熱い思いでいっぱいです。

更には、この日本の行く末をしつかりと見て、並々ならぬご苦労のある中で、信じて疑わざ社団法人倫理研究所を立ち上げられた大師丸山敏雄先生の偉大さには、敬服とも思う感謝でいっぱいあります。

今後は、それぞれの倫友仲間達がこの広報誌「とちりん」も有効活用しながら倫理の実践を通して、普及拡大し、この度の五百社の仲間達と共に栃木の企業、ひいては我が国的企业が倫理を実践し、ひとりひとりが幸せな人生をすごしてゆける様になることを熱望致します。

この混沌する我が国、政治、経済の腐敗は、目を覆いたくなる状況であります。声を大きくして、純粹倫理の実践を伝え「日本を良くする運動」をこの栃木の足元から、明るい地域づくりにと傾注してまいります。今日の喜びを、次への飛躍と考えて、倫友と共に相集い、更なる普及発展に邁進致しましょう。

広報誌「とちりん」の充実を願うと共に、今後共御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、お礼とお祝いの挨拶と致します。

## 負うた子に教えられる

十余年前、長男真一が、当倫理法人会に入会し、やがて良い会だからと私に勧められたが、幾月かして、それまで加入していた幾つかの会の中で、この会ほど良い会はないと思うようになりました。

特に当会のバイブルとも言える「万人幸福の菜」の十七ヵ条は毎日読んでいるが、そのため啓発させられる。これは倫理研究所の創始者である「万人幸福の菜」の著者である丸山敏雄先生の偉大さに驚嘆する。

然も二代目竹秋先生から、三代目の現理事長敏秋先生へと継がれ、倫理法人会の会員数も、この十年で一万社から二万社、現在では全国に三万社と拡大し続けていることが、如何にこの倫理の道が現代の混乱した世相に、中小企業者の歩むべき正しい道を明示しているとの実証であります。

ただ週一回のモーニングセミナーに参加する会員が少ないのが残念だ。月額三万円の会費を納め、社員研修用等に用三十冊の「職場の教養」を受取つて活用しているだけでは惜しいと思つ、勿体ない。モーニングセミナーに出席して、諸話者の話を聞き、会員との交流から、自社の、自身の成長の糧を得てほしいと切に願つてゐる。

宇都宮市倫理法人会

会長 阿部 勝

# 宇都宮市倫理法人会



宇都宮市倫理法人会会長  
阿部 勝

## 宇都宮市倫理法人会 会長挨拶

私が倫理法人会に入会したのは「牛に引かれて善光寺詣り」ではあります。せんが、息子真一にすすめられて宇都宮市倫理法人会に出席したのが始まりです。

会長は宇都宮市にこの会を創立された沼生さんでした。沼生会長は毎週熱心にこの会のこと、会の在り方、この会で学んで正しい社会をつくるためにも絶対必要だと私も信ずるようになりました。

朝六時の例会には鹿沼を五時半に出なければなりませんが、それも少しも苦にならず、毎例会に出席することが楽しみになりました。事務局は中里みどりさんが担当しておられまして、分からることは總て教えていただきました。年月が流れ、沼生さんもお亡くなりになりましたが、少し早過ぎたと本当に残念です。それに沼さんの後継者がお父さんの

意志を継いで倫理法人会活動に入っていただけなかったことです。これは色々事情があるとは思いますが、良いことは次の世代に引継ぐことが大切だと思います。

平成十四年三月二日、三日、四日と富士山麓にある富士研経営者セミナーに、佐藤前県会長、最上県会長さん達と参加してきました。

周囲の環境、施設共素晴らしいものです。

受講目標に私は「セブンアクトの完全習熟」を掲げましたが、決意宣言書には、「人生を美しく締めくくるために『今

日も人様のお役に立たせていただきす」と念じて一日をスタートします。

二、明朗と愛和の家庭と職場作りを更に喜びを共有する仲間作りに努めました。

又、遺言を書く機会を与えられた

ので、妻と子供達にあてた遺言を認め、御殿場から自宅に郵送しました。

倫理法人会に入つて活動した結果、夫婦をはじめ、家族のきずなが強くなりました。又、良き友を大勢得ることができました。この機会に厚く御礼申し上げます。

## 7 Acts (7つの基本動作)

- ① あいさつが示す人がら、躊躇せず先手で明るくハツキリと。
- ② 返事は好意のバロメーター、打てば響く「ハイ」の一言。
- ③ 気づいたことは即行即止、間髪入れずに実行を。
- ④ 先手は勝つ手5分前、心を整え完全燃焼。
- ⑤ 背筋を伸ばしてあごをひく、姿勢は気力の第一歩。
- ⑥ 友情はルールを守る心から、連帯感を育てよう。
- ⑦ 物の整理は心の整理、感謝をこめて後始末。

## 平成十五年度に向けて

連綿と受け継がれた会風を大切に、自然に仲間が集まるような会にで

きたらと願つております。

けさ掃除をしていると、背中に「あ

うさま」と大きな声が。聲啞の男性の若輩者ですが、諸先輩方のご指導を賜り、使命を全うしてまいりたく存じます。どうか倍旧のご指導ご鞭撻

のほど、よろしくお願ひ申しあげます。

私達に意氣地が無いばかりに、阿

部会長様にはたいへんなご無理を申

しあげてしましました。しかしお蔭

様で阿部会長様のもとで、着実に成

長の礎が築かれているのを実感して

おります。本当にお世話になりました。

ありがとうございます。

さて、会長を拝命しました折には、

新役員を中心とした会員の皆様のご

協力のもと、「いい会創り」に専念

してまいりたく存じます。

モーニングセミナー活性化の為の

具体的アクション、イブニングセミ

ナーや様々な催しを企画し、質の高

い学びと交流の場を提供してまいり

ます。

広報活動として、機関紙を発行し

会の活動報告や会員企業様の紹介な

どをお伝えしてまいります。

根深ければ葉繁し——まずは自ら

の行動を律し、和やかな中にも力強

い会の運営を目指します。これまで

宇都宮市倫理法人会  
専任幹事 鈴木 健夫

急速な  
先のこととを心配するな  
自然にまかせて处置をとれ  
これでよい  
喜こべ

丸山敏雄 最後の言葉

# 足利市倫理法人会

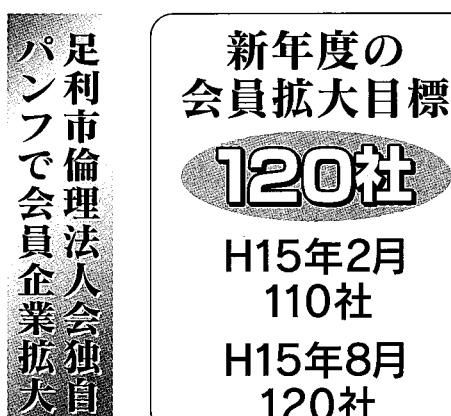
平成十四年度も間もなく終わろうとしています。足利市倫理法人会は今年度の活動重視目標として、①会員の退会防止と質的向上②M・S参加者二十名の確保③朝礼研修と職場に朝礼の普及、これらを実現を目指して運営してきました。又本期は県法人会の目標として五百社達成とその記念式典の開催を推進しており、足利においては数年間の懸案であった正法人会としての欠格を解消するという命題が与えられていました。

この会員増強のために三月より倫理講演会を中心に毎月イブニングセミナーを開催しPRに努め、又地元新聞に記事と広告を出すと共に足利を良くしようとのキャンペーンパンフを作成して二千部を配布して問題提起を行った。これらの活動をもとに六・七月に集中的に会員拡大の勧奨に入つた。多くの会員の協力と努力によつて目標達成に手が届くところまで実績をあげることができました。拡大勧奨

の過程において旧来の体制からの障害や先入観という壁に突き当たるようなこともあります。しかし一社ずつの理解のもとに倫理の良さを普及させてゆくことが肝要であります。今後はこの新入会員が法人会に定着し共に活動できるようにお互いに研鑽に努めてゆきたいと考えております。皆様のご協力ををお願い致します。



足利市倫理法人会会长  
石 橋 清



## モーニングセミナーの活性化へ向けて



名前後のお仲間の会員の出席で、少し低迷状態が続いております。そして新入会員がこの三ヶ月で、約三十名も増えましたので、これを機会にM・Sの活性化に力を注いでいきます。具体的には、

- 新規会員を紹介者が迎え同行参加
- 既存会員の一ヶ月一回の参加を呼びかける。
- 近隣の法人会の役員の方を講師に招きスピーチの内容にする。
- 倫理のM・Sの手順・運営を正確に実践する。
- 終了後の食事には、コミュニケーションが取れる配置にする。

忙しい経営者にとって朝の時間が「成功の鍵」となります。早朝六時に行うモーニングセミナーは倫理法人会の中心的な活動です。早朝のこの勉強会には、大きな理由があり、独自のパンフレットを作成して、拡大に努めてきました。

「会社をよくしよう！足利市をよくしよう！活力あるよき風土！魅力ある足利市を創ろう！」

このタイトルで活動を行つてきました。長期不況の中、法人八十%が赤字の状況下では、大胆な改革よりも足元を見つめ直し、経営者自身が変わらなければなりません。そこで、経営者が「気つきと実践」に取り組み、自分を変えて困難な状況を切り開いていくことです。

足利市倫理法人会では、毎回十五

企業に陥っています。このような状況下では、大胆な改革よりも足元を見つめ直し、経営者自身が変わらなければなりません。そこで、経営者が「気つきと実践」に取り組み、自分を変えて困難な状況を切り開いていくことを

足利市倫理法人会は、この経営環境下で共に考え、共に企業の存続と繁栄を学んでいくお手伝いをしていきます。企業を良くし、足利市を良くしていくことを



# 小山市倫理法人会



小山市倫理法人会会长  
原 貞夫

## 小山市倫理法人会 会長挨拶

い切つております。

現代社会において、「小さな苦

難を大きな不幸にしている企業」  
が後を絶ちません。一流企業が

消費者に対して「信頼を失うよ  
うな事件や事故」は目を覆うば  
かりであります。まさに倫理觀

の欠如による社会の荒廃であり  
ます。この荒廃した世の中に倫  
理を取り戻さなくてはなりません。  
が後を絶ちません。一流企業が

平成十四年度もまもなく終わ  
るうとしていますが栃木県倫理  
法人会は県目標五百社、日光今  
市準倫理法人会正法人会昇格、  
各法人会百社を超える目標必達

をを目指し八月二十四日を最終日  
と決め一丸となり燃えておりま  
す。栃木県は必ず達成いたしま  
す。

さて、丸山敏雄没後五十年記  
念出版として「丸山敏雄伝」が  
二〇〇一年十一月十六日第一刷  
発行、二〇〇二年一月十八日には  
は第十四刷発行されました。「幸  
せになる法則を発見した人」と  
し「小さな苦難を大きな幸福に  
変える法則がここにある」と言

功する」倫理を多くの方と共有  
したい。その意味で倫友の輪を  
大きく広く伸ばしてゆきたいと  
思つております。

小山市倫理法人会では小山グ  
ランドホテルにおいて毎週木曜  
日、朝六時よりモーニングセミ  
ナーを開催し楽しく倫理を学ん  
でおります。明るく元気なセミ  
ナーは定評があります。ぜひお  
立ち寄りください。皆様のご参  
加を心よりお待ちしております。

感 謝



オリジナルパンフレットを作成して、会員拡大活動を行つております。

経営者モーニングセミナーの活用と活性化

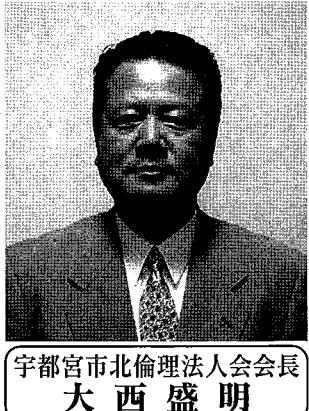
会員拡大のためのツールとして、小山市倫理法人会でオリジナルパンフレットを作成し活動を行つております。企業活性化の秘けつ発見“のタイトルで紹介事業所への配付や、経営倫理講演会、イブニングセミナー等で来場された新しい方々にお渡ししております。

明るく活力ある職場づくりと企業の明日の繁栄を目指す経営者の会員が一人でも多く、共に集える会にしていきたいと思

ます。また、会員拡大に向けて、ビジタの同行参加推進やM・S委員会の活動として、会員への出席の呼びかけをし、活性化も進めてお

ります。忙しい経営者にとって朝の活用が成功の鍵になりますが、毎週木曜日朝六時より開催している小山市倫理法人会のモーニングセミナーでも、さまざまな業種のトップが集い研鑽しあっています。早朝の爽やかな空氣の中でのトッピングが集い研鑽しあっており

# 宇都宮市北倫理法人会



宇都宮市北倫理法人会会长  
大西盛明

## 宇都宮市北倫理法人会 会長挨拶

残暑も和らぎ朝夕涼しくなつてまいりました。皆様お元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。平素は、当倫理法人会の活動に関しましては、格別のご理解とご協力を賜り御礼を申し上げます。

さて、我が「宇都宮市北倫理法人会」は、昨年の六月二十二日に宇都宮市倫理法人会の皆様の絶大なるご支援により、百二十三社の正法人会で感動の立ち上げをさせていただきました。

設立式典のおり小杉専任幹事の挨拶では、目標達成のご苦労から、声を詰まらせ涙する場面に思わず壇上に駆け寄り共に感動を味わつた次第です。

当法人会は、宇都宮市からの分封でしたので、経験者は幹部三名だけで他は全くのフレッシュな会員でこの一年間運営活動をしてま

いりました。冬の寒い時期には、モーニングセミナーへの参加が少ない時期もありました。しかし、「継続は、力なり」を合言葉に、続けてまいりました。最近では、少しずつではありますが、朝のモーニングセミナーへの参加者が増えてまいりました。つい先日、七月三十日は嬉しい事に、久しぶりの満席になりました。会員の皆様のご

元気な、活力ある北倫理法人会にまいりました。そして、当会での元気な学びを各会社や家庭、地域に広げてまいりたいと考えております。

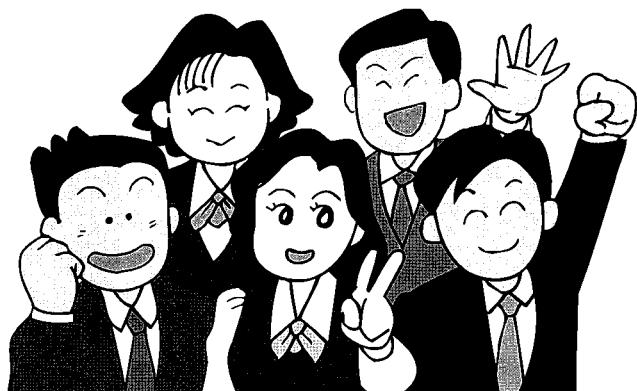
又、更には、「日本を良くする」運動にしたいと考えております。

現代の日本は、閉塞、混迷を極めています。こんな時こそ、「純粹倫理」の教えが必要であると考えます。私ども経営者は、職場における教育はもとより、家庭でも、地域でも倫理の実践を通じ、明るく住み良い社会の実現を目指してまいります。

会員の皆様には、変わらぬご支援とご厚情をよろしくお願い申し上げます。結びに、会友の皆様のご健勝をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。有難うございました。

## 活動の活かし方

当社では、倫理の実践を通して、明るく、元気に、素直に、感じる心を養っています。



当社では、倫理の実践を通して、明るく、元気に、素直に、感じる心を養っています。

# 祝・日光今市倫理法人会設立111社達成

栃木県倫理法人会五百社達成、誠におめでとうございます。また、私共日光今市倫理法人会設立にあたり、皆々様の並々ならぬお力添えをいただき、この場をお借り致しまして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

振り返れば、昭和二十五年の朝鮮動乱に依る特需景気で、日本は活気を取り戻し、新幹線が走り、東京オリンピック、更には列島改造等で好景気が続きました。世の中は豊かになり、旅行を楽しむ人も増えてきて、それに連れて施設も増えてきました。私共も昭和三十二年に旅館業を創立して、どの施設も順風満帆の良い環境でした。しかし、いい事が永久に続く筈もありません。昭和六十四年、パブルが崩壊、一気に世の中が変わりました。御多分に洩れず、宿泊業界も旅行者の数が減つて、大型化したホテルも、バスの駐車スペースの空きが目立ち始めました。

今年こそは、来年こそはと業績の向上を念じながらも、年を追う毎に、不況の波に洗われて、閉館、廃業する旅館も出てきました。いや、サービス業は建物や施設で

## 倫理との出会い



日光今市倫理法人会会长  
**白井 新**

ではなく、中身が問われる時代となりました。物から心への移動です。各地の各企業が講師を呼び、社員教育に真剣に取り組み始めました。

私共でも、まだ現在の様なミーティングという言葉が広く使われなかつた時代、昭和の終わり頃から、毎朝「朝礼」を行っていました。前日宿泊されたお客様の対応とか、本日宿泊予定のお客様のプロフィールなどの説明、接客用語の練習等、全社員が事務所に集まつての朝礼でした。当時は人手不足の時代でした。「こんな朝礼に出るより、早く帰つて休みたい」という者が多く、不平不満を持ちながらの朝礼は少しも身につきませんでした。

此の頃です。「朝礼を押しつけると辞められてしまうから、ほどほどに」と女将に言われましたが、社員が会社のやり方に不満を持ち、辞めていつて少なくなつたら、それで対応出来るだけの客を迎えたらいと思いました。

そんな数年が過ぎて、平成の始め頃すでに故人になられた沼生電機の会長や当時事務局をやつておられた中里さん達から勧められて倫理法人会を知り、「職場の教養」を朝礼の中に取り入れ、糸余曲折しながら現在に至つております。

数年前から、時間になると各職場から仕事を一時中断して全員が集合します。私も女将も時間が許す限りこのミーティングには出席します。「職場の教養」の総説の後、二、三名の者がコメントを進行係

から指名され、「今日の心がけ」の最後のまとめを受けます。声をかけてもなかなか集まらない朝礼を始めてから十数年、やつと一人始まりました。

前のミーティングが出来る様になりました。そんな毎日の小さな積み重ねが、始まりました。努力をする経営者のところには良い意見が言える様になつた事が、大変喜ばしく、誇りに思います。営者の企業には駄目な社員が集まり、努力をする経営者の方には良い意見が言える様になつた事が、大

新年度の  
会員拡大目標  
**120社**  
11月末まで

（花の宿松や 代表取締役）

最も的確な教科書「職場の教養」

に優るものはないと思っております。

「万人幸福の葉」中の、「人を改めさせよう変えようとする前に、

まず自ら改め、自分が変わればよい

精神を、学び実践していくのみ

です。人生は出会いが決める

と申しますが、私は素晴らしい家内、

社員に出会った事に感謝しております。

そして私の人生を変えてく

れます。それこの倫理との出会いには何物

にもかえがたく感謝しております。

（花の宿松や 代表取締役）

- ①普及の推進と会員増強  
②経営者M・Sの活性化  
③自主企画行事の充実  
④十一月末に百二十名を目標  
(目標三十名)

専任幹事 長島 孝昌

日光今市倫理法人会  
今年の目標

倫理

希望

遠くちらほら倫理の灯よ  
まずは 我を照らし給え  
そして あなたを！  
あなたの企業を！  
あなたの町を！

決意

私は大日光観光圏にある倫理法人会である。少しでも良いサービスを提供し、お客様にたくさんおこしいただける魅力あふれる観光地にしたい。良いサービスとは何であろうか。住人一人一人が、やさしい心でお客様をおむかえすることである。そのためにはもっと倫理を学んで、一人一人が自分の心を成長させ、生活を見直し町をかえるべきである。そのため、私達は倫理を伝えづけ、仲間をふやしていく。設立を機に、決意を新たにする。

日光今市倫理法人会 役員一同

# 朝起きは、すべての基本

朝起きて、最低の顔をしていないか。

一日に一度かならず目が覚める。

目が覚めるということは、生きていることの証。

ああ、今日も生きていてよかつたと、機嫌よく起きるのが本当だ。

自分を変えたい、生まれ変わりたい、心を入れ替えたい、成長したい、そう考える人は実際に多い。書店に行くと、自己啓発の書籍がずらりと並ぶ。宗教書も需要に応えて洪水のよう並ぶ。セミナーに参加したり、修行に励む人もいる。確かに自分を根本から作り直したいとなれば、大仕事である。では、根本とは何なのか。それは、「自分とはそもそも何か」を考えることから始めてはならない。自分とは、底知れない、奥深いところに本質があつて……と突き詰めていくと、きりがない。

する。これが癖になり、強情となり、ズボラを決め込み、不純な心のにこりが沈殿し、堆積していく。そうした悪い習慣の大本が、朝寝なのである。朝、目が覚めるのは、気づきの根本である。

気づいた時——それはその事を処理する最高のチャンスである。それをのばせば、次第に条件がわるくなる。事情の最も高潮に達した時、その波動が、人の脳に伝わって気がつくようになつていて。

(『万人幸福の薬』より)

(中略)

(中略)

はどうしたらいか。最も効果的なのが、朝サツと起きることである。丸山敏雄は、人間の再建は朝起きにある、と断言した。人間が、他の動物と違つて、いろいろな不幸に出会うその元は全部わがまま、気ままの心にある。そして、このわがままは、何よりもまず、朝寝から始まる。

気がついても何もしない。やらねばと思つても先延ばしにする。今までの理由はないのに、延期

早い起きの秘訣? そんなものがあるのですか、ただ「やればできる」のです。「さあ明朝から早く起きるぞ」ときめて起きたらよいのです。

(『清き耳』より)

よいことを始めるのにグズグズする必要はない。明朝から始めよう。

(丸山敏雄伝)  
『近代出版社』より抜粋

## 栃木県内・経営者モーニングセミナーのご案内

毎週1回 朝6:00~7:00

宇都宮市	土曜日	於 ホテルフェアシティ
足利市	金曜日	於 ニューミヤコホテル別館
小山市	木曜日	於 小山グランドホテル
宇都宮市北	火曜日(9月より金曜日)	於 ホテル東日本宇都宮
日光今市	水曜日	於 今市・鬼怒川のホテルにて

※セミナー終了後、どの会場も朝食をとりながらの親睦会及び情報交歓会があります。

### 編集後記

- 突然「広報委員長頼むよ!」と会長からのひと声。倫理はいつでも「ハイ!」と、目にタコができるほど先輩から刷り込まれた私は素直に「ハイ!」
  - ところがところが、それが大変、6ヶ月以上も課題の大きさに手も足も出なかつたわが身の恥ずかしさに心も竦む。運命自招、自分から動き出さねば…。
  - おかげ様で「ねえ! 助けて…」の心で元気を取り戻し、ようやく広報委員会発動。心即太陽、各地区一貢責任分担「ハイ!」
  - 第1回目の委員会から創刊まで約25日。びっくりする早さで進行できた
- のは各地区「ハイ!」で決まった広報委員さん達のおかげ。信成万事、何度も重ねる広報委員会のたびにスゴ~イ! の連発。
- 万象我師、倫友広報委員の苦労を感じ、お忙しい中を即、原稿を用意して下さった各地区会長さんにも頭が下がります。
  - 誰よりも一番ハラハラドキドキまっ青になつたり大変だったのはダイサンさんかも。「有難うございます。次号もよろしくね!」
  - ともあれ、大変な体験も今日でひと息。何よりも役得に感謝、学ばせていただきました。苦難福門。次号もガンバローっと。

M・O

## 栃木県倫理法人会 会報

発行所 社団法人 倫理研究所 栃木県倫理法人会事務局

〒321-0945 宇都宮市宿郷2-10-16 外池宿郷ビル3F 小杉会計事務所内 TEL:028-635-2012 FAX:028-651-2050

平成14年8月24日号 第1号 発行人:最上 勝弘 表紙写真提供:柏崎 邦夫(小山市倫理法人会会員) 印刷:(株)ダイサン